

## 「ニュー 5 S」を職場に！

～労働災害の防止を 5 つの S (Skill、Speed、Science、Spirit、Safety) の視点から考える。～



### 【講師のプロフィール】

金原 清之(かねはら きよゆき)氏 (金原安全・衛生コンサルタント事務所所長)

元奈良労働基準局長(元労働基準監督官)、大阪産業保健総合支援センター産業保健相談員(衛生工学担当)、工学博士、労働安全コンサルタント、労働衛生コンサルタント、(一社)ニュー 5 S 普及協会代表理事、奈良労働局安全衛生専門委員、日本労働ペンクラブ会員

### 1 ニュー 5 S とは

スキル、スピード、サイエンス、スピリット、セーフティーの各視点からものごとを見る手法

### 2 なぜ 5 つの「S」なのか

職場に必要な事項のほとんどがこの 5 つの「S」に集約されるから

### 3 5 つの「S」は何を意味するのか

各「S」	「S」の対象	「S」に含まれる意味
スキル (能力)	作業員一人ひとり、作業指揮者、管理者、スタッフ、経営者、企業等	作業に関する知識、資格、体力、教養、管理能力、経営能力、地位等
スピード (速度、時間)	仕事・作業の流れ、製造の流れ、課題への対応、判断・決定時期等	適正速度、適正時間、所要時間、時間厳守、納期厳守、所要期間等
サイエンス (科学)	作業内容、作業環境、機械・設備、対策、製作、経営環境、行動等	科学的裏付け、勘の否定、理論、証明、因果関係、見える化、記録等
スピリット (心構え)	作業員一人ひとり、作業指揮者、管理者、スタッフ、経営者、企業等	こころ、精神、心理、やる気、協調、健全な向上心、職業倫理、規範精神等
セーフティー (安全対策)	作業内容、作業環境、機械・設備、対策、製作、経営環境、行動等	安全・衛生対策、品質確保対策、法令順守、危機管理、事業継続対策等

### 4 ニュー 5 S をどのように活用するか

- ・仕事を始める前、仕事前にニュー 5 S の視点から点検を行い、災害等を防ぐ。
- ・災害・不良品・失敗が発生したり、仕事が成功したときなどにニュー 5 S の視点から分析を行い、今後に活用する。

## 5 ニュー5Sの活用例にはどのようなものがあるか

「ニュー5S分析」がある。これには「ニュー5S点検」、「ニュー5Sチェック」、「ニュー5S災害事例検討」、「ニュー5S対処事例検討」などがある。

## 6 ニュー5Sを本格的に進めるには、どうすればよいか

- ・ニュー5S推進体制の整備  
(「ニュー5Sコーディネーター」の選任、「ニュー5Sリーダー」の配置など)
- ・ニュー5S規程の作成
- ・ニュー5S推進計画の策定
- ・ニュー5S教育の実施
- ・ニュー5S分析の実施
- ・ニュー5Sの視点からの諸事項(例えば、規程、作業手順など)の点検

### 職場に「ニュー5S」を導入することの意味

